

令和5年度第1回多治見市生活支援体制整備推進会議議事録

日 時：令和5年6月14日（水）

10:00～11:18

場 所：多治見市役所 駅北庁舎4階第2・3会議室

出席：高木浩二会長、浅野みな子副会長、竹内寛委員、林計男委員、加藤六美委員、水野貫二委員、林正勝委員、若尾卓男委員、伴野義久委員、松村三千代委員、吉川幹委員、田中信次委員、森内佐和子委員、高橋加代子委員、鬼頭弘一代理委員（羽根田真理子委員の代理）、水野磨意子委員、松岡由佳子代理委員（村田志野委員の代理）、水野千鶴子委員、中村みさ子委員、大中博委員（順不同）

欠席：浅井朋子委員、吉井よしみ委員

事務局：前田高齢福祉課長、内山高齢者支援グループリーダー、藤井第2層生活支援コーディネーター、田立第2層生活支援コーディネーター、高齢福祉課水野

事務局

本日は、大変お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。

開会に先立ちまして事務局からご連絡いたします。

多治見市社会福祉協議会の4月1日付けの人事異動に伴い、太平包括支援センターからの選出委員が西山知広委員から高橋加代子委員に交代になりました。第2層コーディネーターは山田恵美子さんから田立桂吾さんに交代されましたので、ご紹介いたします。

なお、吉井よしみ委員、浅井朋子委員は都合により本日の会議を欠席されておりますので報告します。

また、羽根田真理子委員の代理で鬼頭弘一さんに、村田志野委員の代理で松岡由佳子さんにご出席いただいておりますので、ご報告いたします。

それでは、高齢福祉課長の前田からご挨拶申し上げます。

高齢福祉課長

～あいさつ～

事務局

次に、配付資料の確認をいたします。

座席表、次第、委員名簿、資料1、資料2、資料3、前回のグループ討議のまとめ、第1回生活応援員育成講座のチラシ、令和5年度生活応援員フォローアップ講座開催要項を各委員のお手元に、また、グループごとに「グループ討議 概要報告用紙」をすべて本日机上に配付させていただいておりますのでご確認ください。

なお、本日の会議は11時30分を目処に終了したいと考えておりますので、ご了承ください。

事務局からの連絡は以上となります。

会長

それでは、ただいまから令和5年度第1回生活支援体制整備推進会議を

開会します。

本日の会議は、多治見市情報公開条例に基づいて公開とさせていただきます。また、議事録につきましては、事務局で取りまとめの上、委員の皆様にご確認いただいてから、委員名を伏せてホームページで公開させていただきます。

初めに、次第1「第1層・第2層生活支援コーディネーターの活動について」それぞれコーディネーターから説明願います。

コーディネーター

～第1層・第2層コーディネーター 資料説明～

会長

第1層・第2層生活支援コーディネーターの活動について、委員の皆様からご意見、ご質問をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

～意見なし～

会長

次に、次第2「第2層協議体の取り組みについて」ですが、各校区の状況を、コーディネーターから説明願います。

コーディネーター

～第1層コーディネーター 資料説明～

会長

第2層協議体の取り組みについて、委員の皆様からご意見、ご質問をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

～意見なし～

会長

次に、次第3「地域課題に関する意見交換」を行います。昨年6月に開催した第1回会議において、今期はグループ討議を行うことを決定していますが、その前にどうしても委員の皆さんに伝えたい、質問したいということがあれば、挙手願います。

委員

～令和4年度多治見市の社会資源調査一覧表の訂正～

会長

それでは、会長、副会長ともグループ席へ移動させていただき、グループ討議の進行については事務局にお願いします。

事務局

今期の生活支援体制整備推進会議は、ボランティア活動等の「担い手の発掘」「参加に導くためのきっかけづくり」をメインのテーマとし、議論を進めていただくことになっていますが、その前に、お手元に配付しました

「前回のグループ討議のまとめ」について簡単にご報告いたします。

～前回の討議結果を簡単に報告～

事務局

次に、グループ討議について説明します。

今回も、最初にリーダー(司会)、発表者を決定してください。

書記は、包括支援センターから選出の委員さんでお願いします。

書記の方は、発表される方が発表しやすいように、グループごとにお配りしました「グループ討議 概要報告用紙」をご記入ください。

概要報告用紙は、発表後に事務局へご提出していただき、会議録確認時や次の会議時に印刷して皆さんに配付します。

司会者と発表者を決定いただいた後、前半 20 分で、「情報発信について (活動を理解してもらうために、若い人とつながるために)」を中心に、後半 20 分で「ボランティア活動について (有償・無償、妥当な金額、支援者のモチベーション維持、依頼者の感情)」を中心に討議いただきたいと思います。

討議の後、11時05分くらいから1グループ3分をめぐりに討議内容を発表していただきます。

ご質問があればお伺いします。

～質問なし～

事務局

これより、5分間でグループリーダー、発表者を決定してください。早く決まったら先に進めていただいて構いません。

高齢福祉課長、コーディネーターや事務局がグループを移動し、討議を聞かせていただきますので、ご了承願います。

～グループ討議～

事務局

それでは、時間となりましたので、会長、副会長は席へお戻りください。

会長

それでは、1グループ3分ほどで発表していただきます。質問は全グループ発表後にお受けします。3グループから発表願います。

委員

市之倉地域でも小泉地域でも情報発信については広報紙を全戸配布されていますが、実際の相談については広報紙を見て利用した後、口コミで広がっていくことが多いため、一気に登録を目指すより、じわじわと担い手や利用者を広げていければよいという意見でした。

また、広報紙が単色刷りでは他のチラシ等と混じってしまい目立ちにくいいため、カラーにされたなど、今後も読んでもらえるような工夫を継続さ

れるとのことでした。

ボランティアの登録者も利用者も、60代や70代の方が多いとのことでした。ボランティア活動については、小泉地域、市之倉地域ともゴミ捨てを1回100円で募集されており、支援者に7割ほどを支払われるとのことでした。実際には有償の活動、無償の活動があり、例えば市之倉地域では家具の転倒防止は無償でやっている状況でした。

やはり多くの方が困っているのはゴミ出しで、顔の見える関係性の中で地域がつながっていけるとよいという話し合いをしました。

会長

1グループお願いします。

委員

情報発信について、何かの募集をするときには、広報紙も出し、回覧板でも回すが、ほとんど応募がありません。脇之島地域では200人ほどのボランティアがいますが、脇之島地域で行っている15の事業に参加してくれた人の中から協力してもらえそうな人を個人的に説得し、会員になってもらっている状況です。

ボランティア活動については、ゴミ出しのように何年間も継続的に行ってもらうことは無償では頼みにくいですから、例えば100円、200円、300円という低額であればお願いしやすいですし、支援者も受け取りやすく妥当な金額だと考えています。

会長

2グループお願いします。

委員

情報発信については、いずれも月1回の広報紙を全戸配布し、紙の色をイメージカラーで統一して意識付けをしたり、民生委員等に案内したり、必要な情報は適宜回覧したりと工夫してみえるそうです。情報発信は、効果の有無よりも継続することが大切だという意見もありました。

ボランティア活動については、そもそもボランティア活動のどこまでがボランティアなのかということから見直して考えるべきという意見がありました。

有償か無償かという議論では、人が動けばガソリン代もかかり本来無償ではできないですが、予算に限りがあるため妥当な金額を設定するしかないという意見でした。

会長

4グループお願いします。

委員

情報発信については、どこの組織でも広報紙を出してみえますが、果たして若い人に伝わっているのかという議論になり、各イベントの案内をコンビニに置いてみたらどうかという意見や、フェイスブック、インスタグラムやSNSなどで若い人に発信したらどうかという意見が出ました。た

だ、利用者の顔が写っていると許可等の苦情が出ることもありますので、このようなツールでの情報発信にはチェックが必要になります。いろいろなチェックをしていると時間がかかってしまい、鮮度の落ちた情報になってしまいますので、もっと早く発信できる手段はないのかという話になりました。

また、若い世代に関わってもらうためには、若い人に影響力のある人に声をかけて子どもたちや親たちと一緒に参加してもらってはどうかという話から、例えばまちづくり市民会議や、多治見市のスポーツクラブの協会等に声をかけてはどうかという話がありました。

ボランティアの有償・無償については、草取りなど1時間1,000円に値上げをしても需要があるということから考えても継続してやってもらうためには有償でないと続かないという意見が出されました。

支援者のモチベーションについては、「ありがとう。」と言ってもらうことが一番のモチベーションアップにつながっているという意見でした。

会長

質問がある方は挙手願います。

情報発信については、広報紙等で発信していますが、果たしてどの年代が意識しているのか、見ていない人たちにどのように発信していくのかという課題があると思います。

また、ボランティアの有償無償については、ボランティアはもともと無償という意識もありますが、人が動けばお金が発生するので、それが当たり前になってきており、金額の大小の違いになってくると思います。

委員

今回、若い人とつながるためにというアイデアをいただいた。全戸配布にもかかわらず、広報紙を見るのは自分たちと同じ年代の人たちで、もっと有意義な作り方・使い方もあると痛感したので、地域に戻って考えたいと思います。

会長

本日の議論を踏まえて次回もグループ討議を行います。

最後に、次回の会議開催ですが、本年11月頃を予定しております。

開催の1月ほど前にご案内させていただきますのでご了承ください。これもちまして令和5年度第1回多治見市生活支援体制整備推進会議を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。